

令和時代の クルマ選び



札幌市医師会
札幌太田病院

さいとう いちろう
斉藤 一郎

私のクルマ選びは、ブレーキで決まる。左足で踏むからだ。

今の愛車のペダルは、ほぼ中央に鎮座し、大きく横長で、左足を捻る必要が無い。フットレスト同然に無理なく使えるこのペダルのおかげで、運転しているとクルマにまつわるさまざまな煩惱が雲散霧消していくのを実感する。

今から20数年前のこと、私はまだ医学部に合格しておらず、自動車教習所が成人して初めてストレートで卒業した学校となった。校内は生徒と教官とどちらがお客か分からない緊張感に満ち、相当気合を入れて教習に臨んだ甲斐あって、MT車の課程は順調に進んだ。一方、数コマ足らずのAT車教習では、若手女性教官のつけんどんな指図の数々にノーミスで応えたのに、「・・・物足りない。」とだけ呟かれて憤慨した。

その反動か、いざ免許を取り、実家にあった左ハンドルAT車の運転を初めて任されるや、すぐに左足ブレーキを実行した。教習所では決して許されない禁断の行為だが、中嶋悟が著書の中で勧めていたのだ。左足首でスナップをきかせて操るやり方が身につくと、スピードを自由自在に微調整できるようになり、AT車の運転にも退屈しなくなった。

片や右足はアクセルペダルに軽く触れるだけ。常に股関節を意識して、臆病なまでにいつでも脚全体をサッと引っ込める用意ができています。急ブレーキときたら、ちょうど仮面ライダーのキックを左足で決めるようなイメージだ。だから踏み間違いは起こしようがない。

爾来、AT車に乗る際には長距離でも迷わず左足に力を込めてきた私だが、今の愛車の半自動運転を試してみても衝撃を受けた。レバー操作だけで加減速や車線変更が済み、アクセルに触れるのは発進時の一瞬のみ。覆面パトカーを楽々と追い越しそうになるほどで、足元のペダルはそう遠くない将来に消え失せてしまうのではと思わせた。

もうすぐ電気自動車や水素自動車が主役の時代が来ようとしている。次の寅年を迎える頃には、何を基準にクルマ選びをしているだろう。ある日、右と左を間違える一瞬がやって来ないとは言い切れない。昨今の悲惨な事故報道に接するたび、安全は技術の進化に委ねるべきではないかと思う。

クルマを操る楽しさはMT車がいちばんと信じてきたが、それすら仮想現実や拡張現実の技術で埋め合わせされていくのかもしれない。

男はつらいよ 勝手にランキング



苫小牧市医師会
王子総合病院

こいぬま じゅんきち
鯉沼 潤吉

今年寅年です。寅つながりで、今も世代を越えて愛される男はつらいよについて書きます。男はつらいよが新春恒例の映画であった時代の記憶はなく、遡ってみると第13作から14作の時期に私は生まれています。リアルタイムで見たのはつい最近放映された第50作のみで、ちゃんと観賞したのは32歳ころです。なぜか全作見たくなくなって一気に48作まで完遂し、寅さん記念館も行ってきました。男はつらいよシリーズは全編楽しく見ることはできますが、マドンナからの好意の種類がわからない(勘違いしてしまう)、恋愛に無理があるなどの理由でいまいち没入できない作品もあります。一方で何度見ても胸に迫る名作も多く、今回は私の好きな作品を紹介したいと思います。

- | | | |
|----|---------|-------------------|
| 1位 | 第11、15作 | わすれな草、相合い傘。浅丘ルリ子。 |
| 2位 | 第17作 | 夕焼け小焼け。太地喜和子。 |
| 3位 | 第29作 | あじさいの恋。いしだあゆみ。 |
| 4位 | 第38作 | 知床慕情。竹下景子。 |
| 5位 | 第8作 | 寅次郎恋歌。池内淳子。 |

1位はリリーシリーズ。11作目で惹かれ合うリリーと寅さんがとても自然で、15作目で雨の中傘を差して待つ寅とそれを見つけるリリーのシーンは何度見ても目頭が熱くなります。リリーシリーズは全部で4作。ひと続きと解釈しました。2位は夕焼け小焼け。勧善懲悪とはいかないものの後味がダントツに爽やかで、太地喜和子の魅力が画面から溢れてきます。3位はあじさいの恋。いしだあゆみ演じるかがりの本気の思いが伝わる描写でした。かがりの別れ際のことばは身につまされるものがあります。4位は知床慕情。若く美しい竹下景子と寅さんの恋愛には無理がありました。その代わり三船敏郎演じる獣医師と淡路恵子演じる喫茶店のママの恋愛模様がとても素敵です。知床の自然も目に鮮やかでした。因みに北海道は全作通じて10回のロケが行われています。私の故郷栃木は1回きりでほんの少しの描写のみ。魅力度ランキングがこんなところにも表れていました。5位は寅次郎恋歌。この作品は博の父麿一郎(志村喬)と寅次郎のやりとりが印象的です。8作目はまだ初代おいちゃんですね。初期の作品は赤っ恥、はぐれものの要素が強くて見ていてハラハラしますが、その分とらやの人たちの愛情が強くて感じられたりします。以上6作品を選んでみました。寅さん大好きの諸兄姉、言いたいことがたくさんあるかもしれませんが、個人の感想ですので苦情はご勘弁ください。